

第 50 回伝統建築文化推進協議会 定例会議事録

平成 28 年 5 月 10 日 (火)
於 中目黒、東急設計コンサルタント
PM. 7:00~8:00

1. 会員状況報告

上遠野氏休養のため、上遠野氏要望により当該期間田代氏が暫定的に事務的運営を後継しております。よろしくお願ひ申し上げます。

* 5 月 3 0 日開催いたしました第 2 回総会に際し会員として表明頂きました方が、1 8 名でした。引き続きよろしくお願ひいたします

目標 5 0 名以上で常時出席者 1 0 名です。

初出席の方は自己紹介をお願ひ致します。

9 月 27 日時点 (会員 35 名及び支援者・協賛・賛同者 5 名)

会員所在分布

東京都 7 名、茨城 2 名、神奈川 4 名、京都 1 名、
新潟 1 名、福島 1 名、千葉 1 名、鹿児島 1 名

2. 例会議題

-1. 箱根環翠楼 (木造 4 階建て旅館) の耐震調査の進捗。熊本緊急報告

(末延史行会員、東京都耐震協議会副代表、早稲田大学芸術学校非常勤講師)

環翠楼の構造モデルの進捗状況報告。

- ・限られた調査、簡単な一般図による限界を経験上の解釈によって補っている。
- ・国交省建築研究所が開発している木造 3D 構造開発フリーソフトの研究開発の一環として開発研究者と情報交換しつつ研究している。
- ・耐震性の弱点が素人でもわかるソフトだが、モデル入力に限られ開発途上。
- ・極稀地震による構造応答が画面上で確認できるところで行う予定。
- ・7 月 2 日の伝建協会総会には発表したい。

-2. 尾道報告 (渡邊義孝会員、尾道空き家再生プロジェクト理事、尾道大学非常勤講師)

- ・古民家再生の空き家バンクは成功していると言われている。その状況を報告する。
- ・再生の設計や登録文化財手続、確認申請関係を行っている。
- ・中心人物は代表の豊田さん。5 つの活動があるが、ゆるいつながりで全貌がわからない状況と言ってもいい、広がり有る活動となっている。
小学生まで古民家再生に参加！
- ・豊田さんが見捨てられないと声を上げて始まることが多い。再生に際しては参加費を取るボランティアの参加により、仕上げなどをやってもらう。躯体工事はプロだが、それも協力的に工事してくれる。
- ・空き家の発生は交通のない山裾の物件。従って再生物件は手運びで行うことになる。再生ボランティアは女性の参加が多いが、資材を運べる男性募集中。
- ・再生物件の中には商業的に成功しているものもあり、これにより活動が大分支えられている。

-3. 南相馬の計画について（田代、建築学会関東支部歴史意匠専門研究委員）

昨日狩野先生と打合せを行った。内容は以下のとおり。

- ・相馬地区近辺は原発事故のため復興がなかなか進まないが、国道沿いの文化財を掘り起こし、復興の核とした計画を立てたい。
- ・イタリア・オペラに由緒ある文化財建物などが判明した。これを核として、祭りなどとも合せてソフト的な開発とハードの文化財を絡めていきたい。
一方、ハードは文化財復興だけでなく地場にある文化を活かした先端技術開発の研究拠点も誘致する立体的な開発計画としたい。
- ・まずは文化財建物の指定、除染、整備が必要か。
- ・既に行政にも働きかけている。

3. 今後の会員の研究課題について

- ・東日本大震災での礎石より水平移動した総門（高橋会員予定）
- ・ " " 鳥居（第15回定例で済）
- ・ " " 本殿（高橋会員予定）
- ・ " " 門（高橋会員予定）
- ・震災と土蔵（上遠野） （第9回定例で終了済）
- ・震災と民家（岡田会員予定） ・震災と町屋（未定）
- ・店蔵・土蔵の左官震災復興支援委員会の創設（上遠野）
- ・伝統工法の断熱の向上方法（埴会員予定）
- ・町屋の構造解析法の解説（松嶋会員）
- ・伝統工法の寺院の倒壊メカニズムの研究（全員、随時開催）
- ・文化財改修工事願成寺（狩野会員）開催済
- ・伝統工法の各部詳細について その1 基礎（狩野会員）開催済
- ・限界耐力計量法について（松嶋会員）開催済
- ・いわき市の震災で被害を受けた寺院の分析（高橋清会員他）開催済
- ・和風伝統文化（畳文化）の衰退の主因と復興（小西会員）
- ・その他

4. 今回定例

日時：平成28年5月10日（火）PM.7:00～8:00

場所：目黒区中目黒3-1-33 東急設計コンサルタント、2階第3応接室。

最寄り駅：東横線・日比谷線中目黒駅、

山手通側正面出口、改札を出て右の南へ徒歩5分、

駒沢通りとの交差点（中目黒立体交差）ガソリンスタンド隣

5. 次回定例日及び、イベント日等

日時：平成28年6月13日（月）

場所：目黒区中目黒3-1-33 東急設計コンサルタント、2階、第三応接室

連絡先 事務局担当 田代信子

TEL/FAX:045-845-6221（昼間留守中は留守電へお願い致します）

E-mail:nonnon@anno-spero.org

※出欠の連絡は、田代信子会員宛お願い致します。